

学童保育・預かり保育もお引越し



◀ 園庭で元気いっぱい鬼ごっこ！(学童保育)

これまで川俣町で活動してきた学童保育は、草野・飯樋幼稚園の仮設園舎を増設したことに伴い、2学期から飯野町の仮設幼稚園で保育が行われることになりました。このため、下校後は川俣町の仮設小学校からスクールバスで学童保育の施設に移動します。

また、草野・飯樋幼稚園の預かり保育も、学童保育と同じく増設した新園舎に引っ越しました。利用する保護者からは、「子どもが幼稚園と小学校なのでこれまで2カ所だったお迎えが1カ所になってすごく助かりました」「広がったので活動しやすそう」との声がありました。



▲学童保育はおやつの後、みんなで宿題



▶ 預かり保育ではおやつの前にお昼寝をします



◀ 保育室で仲良く遊んでいます(預かり保育)

子育て相談室

新たな学校の船出 その2 草野・飯樋・白石小学校

川俣中学校に間借りしていた3つの小学校が、4月から川俣町飯坂地区内に建設された仮設校舎に移転しました。子どもたちが喜びを体全体で表現し、うれしそうにのびのびと学校生活を始めたのが印象的だったと、3校の先生方がおっしゃっていました。やはり子どもたちも子どもたちなりに間借り生活に気を遣っていたのでした。健気でした。

新校舎は同一敷地に3小学校が同居し、草野小と白石小が合同で、飯樋小が独立して学校を成立させています。校舎は、普通教室12、特別支援学級1、職員室2、校長室3、保健室2、特別教室3、配膳室1、そして体育館です。特別教室と体育館は共同で使用します。エアコンが備えられ、校庭も相当の広さが確保されています。

4月1日現在の児童数は3校合わせて、1年24人、2年34人、3年45人、4年39人、5年38人、6年40人、合計220人です。これは本来の児童数の約62%ということです。学校給食は伊達市に委託し、完全給食が実現しています。

今後の学校経営の方針について、飯樋小の校長先生が3人の校長を代表して「教育課程の完全実施の見通しが立ち、飯樋村にいたときと同じような教育活動を展開する。また、飯樋村の人たちを講師に迎えて『ふるさと学習』を取り入れ、飯樋村をより大切に思う心を育てる」と語っておられました。課題は、就学児童の確保と遠距離通学による疲労の軽減であるようです。

飯館中学校スクールカウンセラー
臨床心理士 海野 和夫

自前の校舎で新学期始まる

たっぷりほめる
しっかりしかる



待望の仮設中学校 完成！



▲新しい仮設中学校へ登校する生徒たち



▲夏休み登校日に教室に机やいすを運びました



▲多目的ホールで行われた始業式のようす



▲木材がふんだんに使われた教室



▲小学校や幼稚園でもそれぞれの校舎・園舎で新学期が始まりました

昨年の震災後からこれまで、川俣高校の空き校舎を間借りして授業を行ってきた飯館中学校ですが、福島市飯野町に仮設校舎が完成しました。新たな校舎には、6つの教室のほか、5つの特別教室や多目的ホールが設置され、また、校舎前には体育の授業や部活動ができる校庭が整備されました(体育館は12月完成予定)。

8月21日の夏休み登校日には、前日までに教職員や保護者のほか、交流のある岐阜県各務原中央中学校からの力強い助っ人により運搬された机やいすを、生徒たちが真新しい校舎に運び入れました。生徒からは「特別教室があるのがいい」「新しい校舎を作ってもらって、元のような学校生活に戻れてうれしい」「部活の練習時間が増やせる」と新しい学校生活に期待する晴ればれとした笑顔が見られました。